

お客様紹介

Honda Cars 出雲 斐川店

様

〒699-0502

島根県出雲市斐川町莊原2242-2

TEL 0853-72-2300

FAX 0853-72-3783

URL: <http://hondacars-izumo.co.jp/>



リニューアルされた店舗全景。陽光が十分に差し込む明るい店舗です。

受付の錦織様（写真上）と女性に大人気のショールーム。錦織様はじめスタッフの細かな気配りで快適な居心地です。



お客様のうれしい！を 全力でサポートします。

2月7日 より広く、より大きく、すべてが新しくなってオープンしました。

「斐川町は、出雲市と松江市のあいだに位置し、人や交通の流れのいいところです。また、村田製作所や富士通などの大手企業が立地し、町外の人が町内に入ってきたり、人の流れがあります。田園豊かな穀倉地帯が広がり、いいところです。いつも地元密着で、地元へ愛される店でありたいと思っています。」と、地元斐川町をこよなく愛する青野専務は、おっしゃいます。



お話を伺った、専務取締役の青野様。趣味がスキー、卓球というスポーツマンです。

当店の自慢は、毎年夏に開催の感謝祭を継続していることです。昨年で18回を数えました。お客様に家族で来て頂いていますが、昨年は、約1,300人の参加がありました。スタッフ総出で、3ヶ月位前から、準備に取りかかり、大サービスのおもてなしをします。

お客様同士で顔見知りになったり、その縁が広がり、とてもうれしいことです。地域のお客様が楽しんでおられる姿をみると、スタッフも元気が出てきます。また、お客様にお会いできるのも私達の最大の楽しみです。これからも、お客様が楽しみにしていただける感謝祭を続けていきたい。

「うれしいを全力で！」とあるように、これからもお客様に満足していただけるよう、全力で取り組んでいきます。お客様の「ありがとう」のために。

（聞き手 長野）



「車のメンテナンスは、私達にお任せください。お客様に安心安全をお届けします」写真左から、サービススタッフの三島様、石飛様、柳楽様。

3月はとても忙しく、うれしい悲鳴です。「店舗が新しくなって、お客様がたくさん来店されています。私達も元気が出ます。」



山陰興業の廃油タンクをきれいに使って頂いています。



「ソチの感動話」

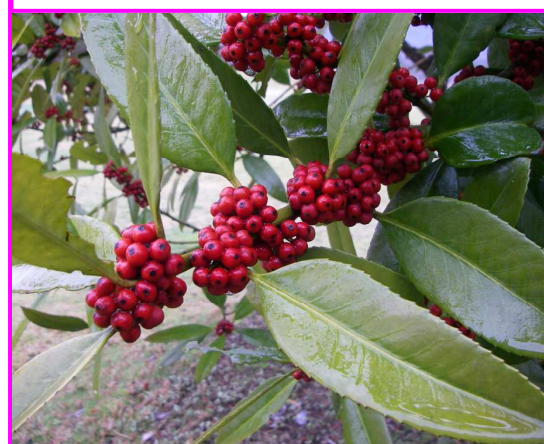
先日行われたソチオリンピックで、感動の一場面があった。

ロシアの選手がレース中に転倒しスキー板が折れてしまった。必死で競技を続けるが、ついにはスキー板が粉々になりどうすることも出来ない状況の中、一人のカナダコーチが1本のスキー板を持ってコース内に飛び出し、ロシア選手にスキー板を手渡し交換した。選手は競技を再開し、無事にゴールすることができた。敵チームのコーチが見る見かねて取った行動である。

誰もが感動した一場面だったが、話しはこれで終わりではなかったのである。実はこのカナダコーチの妻は2006年のトリノオリンピックのスキー団体競技の選手だった。決勝戦でチームメイトのストックが折れてしまい、メダルが絶望的になった時、同じ決勝戦に出ているノルウェーのコーチがコースに飛び出て、カナダチームに新しいストックを渡したのだという。その結果、カナダチームは順位を上げ、銀メダルを獲得。反面、自国のノルウェーチームは4位となりメダルを逃してしまったのである。トリノから8年掛かってソチで恩を返した暖かい話だったのである。

しかし、敵を助けて自国のメダルを取り損なったこのコーチはどうなったのか。両国から讃えられ、カナダからは7400個ものメープルシロップが送られたとのことである。

一方では戦争をしている中で、スポーツマンシップが生んだ心温まる話だった。（安原）



タラヨウ（多羅葉）。ハガキの木。葉の裏に字が書けます。

（長野）

鳥取営業所～information～



鳥取営業所構内の溜めますの掃除をしていたら、亀が出てきました。

掃除が終わると、また中に戻してやりました。寒さをしのいでいたかもしれません。小動物にとっても、住みやすいところなのでしょうか。

もう少し様子を見ることにしました。（宮北）

元気の出る言葉

中村天風師

笑いは無上の強壮剤であり、また開運剤なんだぜ

笑いというものは、その苦しみや悩みに疲れ心や体を、「ほどよくこれをもって調和せよ」ということで、人間にだけ与えられた特別なものにほかならない。



CD紹介 一度は聞きたい！ここが面白い！

*CDタイトル：両備グループ「忠恕（ちゅうじょ）の経営」 両備グループ 会長兼CEO小嶋光信氏
たま駅長誕生のうらばなし！

岡山の老舗企業が、和歌山の赤字ローカル路線を再生させた企業理念とは！

*CDタイトル：寺島実郎「2014年・春」の時代認識 日本総合研究所 理事長 寺島実郎氏
「日韓関係悪化」日本はどうなる！
激変する世界情勢を定点観測、日本の向かう先は・・・

*CDタイトル：《自主独立》儲かる代理店経営 長野いすゞ自動車 副社長 児島保彦氏
会計勉強会で学んだ「1円を大切に経営」を実践！
強みを生かして、長野県下ナンバーワンディーラーの地位を確立

日本経営合理化協会全国経営者セミナーで聴講した興味深いCDを紹介いたします。（3回掲載予定）

社長が薦める今月の一冊

中小企業が
強いブランド力を持つ経営
酒井光雄著
日本経営合理化協会刊



私たちのリサイクルエネルギーが、JISの認定を受けました。ようやく日本の工業製品の規格として国が認めたことになります。しかしこれからが始まりです。

忘れてはいけないことは、規格が決まったからと言って、お客さまは価値が上がったとは決して思ってはくれません。数値が高まれば、性能は向上しているかもしれない。しかしそれがお客さまにとって大きい効果が生まれていなければ、誰も価値を認めてはもらえません。

その商品と会社の良さが、社会に貢献し、存在意義があって初めて価値を認めてもらえる。その上に立って初めて、社員と会社自信と誇りが育つと学びました。

この酒井先生の指導を受け、成長している会社が、この山陰にあることを知りました。力強く感じます。(山根)

編集後記

美味しんぼの日本全県味めぐりシリーズの島根版に、匹見町の郷土料理「うずめ飯」が紹介されています。



先日それを食べる機会があり、再び美味しんぼを手にとってみました。由来については諸説あるようですが、わさびを気兼ねなく振舞うためのもてなし料理であったという説、質素倹約の時代に贅沢を隠したアイディア料理という説など様々です。

うずめ飯の上に
わさび漬がのっています。

作り方は、人参・ゴボウ・里芋・干椎茸・うす揚げ・鶏肉を小さな角切りにし、出汁で柔らかく煮て、醤油・味醂で味付けします。椀に炊き込んだ具と煮汁を入れ、その上におろしたわさびをのせ、そしてご飯を盛り付けます。わさびは当地の特産で昔は高価なものでした。たっぷり使うとお客様が気を遣うので、おもてなしの心でご飯でわさびを隠したということです。ほっと心が温くなりました。

郷土料理にはそれぞれ由来があり、調べてみると地域の特性などがわかり、ますます親しみが湧いてくると感じます。(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,890です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に、牡丹の鉢植えを差し上げます。クイズの締切は3月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 4月から消費税率が8%に変わりますが、現在の消費税が5%に変わったときの首相は誰だったのでしょうか?

先月号の答は、「7」でした。境港市 松本様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

・くちびるに歌を

KBツヅキ 大野様から寄贈賜りました。

・サラリーマンの9割は税金を取り戻せる一あらゆる領収書は経費で落とせる【増税対策編】

大村大二郎 中央公論新社

・これから日本は4つの景気循環がすべて重なる：ゴールデン・サイクルⅡ

嶋中雄二 東洋経済新報社

・トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)2020年の覇者をめざす最強企業

中西孝樹 日本経済新聞出版社

・ビジネスに効く400冊! 必読本 大全

日経BP社

・人生はワンチャンス! 一仕事も遊びも楽しくなる65の方法

水野敬也 文響社

・人生はニャンとかなる! 明日に幸福をまねく68の方法

水野敬也 文響社

・婦人公論別冊 曾野綾子さんに学ぶ人生後半の深い生き方 2014年3/15号

中央公論新社

発行日: 毎月10日

発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。

Proud to
Keep Japan Clean
SAN-IN KOGYO

エコス通信・・・お客様と私たちのコミュニケーション誌



「ステキなものをありがとう」

第22回出雲養護学校高等部作品展・即売会「is you」が、2月21日から22日 ゆめタウン出雲において開催されました。これは地域の方々に自立をめざしている生徒を理解してもらい、交流を深めることを目的とするものです。

会場はオープンとともにお客様がお目当ての商品に殺到しました。



山陰興業社員も買いものに行かせて頂きました。(下写真参照)



「is you」は、出雲養護学校の生徒のみなさんにとって、一大イベントであり、代々その力の入れようは相当なものです。授業を通して、年度初めの4月から製作準備にかかります。1年生のレジ係は、11月ごろから特訓です。そのような生徒や先生の努力があって、このような大人気のイベントとして、定着していったのです。開催2週間前は、強化週間で、製作班によっては、「さあ、やるぞ!」と商品製作仲間とチームワークを組み、協力していく心が育まれます。

このイベントを通して次のような喜びが生まれます。

※自分たちが作ったものが商品となる、作る喜びを得る。

※「ステキなものをありがとう」とお客様から言っていただくことを目標に、働く力をつける。

※市民との交流の中から自信をつける。

※買っていただくお客様のことを考え、よりよい製品をつくる気持ちを養う。



陶芸班の湯飲みや皿、農業班の花鉢植えやジャム等、豊富な品が並びます。



初日から、待ち構えていた市民の皆さんが殺到して、直ぐに売りきれの商品も続出し、その人気の高さが伺えました。生徒や市民が一体となった、「is you」は、生徒たちの育つ様子をみて、来店客もともに学び育つ場であると感じ、今後ますます発展していくと確信します。

心のこもった商品にこそ「ステキなものをありがとう」(長野)



励みの会に大きく期待する

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

2月22日「励みの会」が、17名の出席のもとに開かれました。回を重ねるごとに発表の内容が充実し、現実味が増してきており、それにもまして発表者の熱意が強く感じられました。15回目にして、大きい成長です。

「励みの会」とは、社員自らが自発的にアイデアを計画し、この事業を実行すればもっとお客様にご満足していただける。実現のために私はこの事業に挑戦したい。その自分で立てた計画を、社長と役員、社員の前で発表し、承認を受け、理解と協力を得る。その上で自らを励まし、失敗を恐れず挑戦し、そして成功を勝ち取る。

今回の発表は、

「オーダーメイドタンク設置提案」

：大國（以下敬称略）

使用済潤滑油が入れやすく、付近を汚さないタンクを、そのお客さまだけに個別に作る。お客さまの環境をもっときれいに。

「地下タンクFRPライニング補修、改善」

：植尾、岸本

全国基準以上の独自の基準をつくり、より安全、安心をめざす。

「いいつもりが・・・」：吾郷

差し上げるノベルティー商品をお客様個別のご要望も聞かず、画一商品をさしあげた。そこで「いらないよ！」と断られたという、笑うに笑えないお粗末な話。お客様に聞けばわかること。

「顧客管理システムを通じて、新たなビジネスチャンスの発見」：榎並

ないと思っていたところに、まだ新たな宝物が。

「バイオ再生重油（仮）事業」：木村、高橋

今まで存在しなかったこの地域から創出される新しいエネルギーの開発。失敗を恐れず、しかし着実に前へ進む。

「収集顧客管理システム」：山口、恩村

お客さまの満足を高めることをもっともつと、いとわず実行する。

「ありがとうカード」展示：吾郷

「エレメントカッター実演」：福島

社員の知恵を借り、もっともっと良いものをつくる。

「マイベイベー」という言葉を学びました。自分の子供をいっくしみ育てるように大切に育ててほしい。次回は7月、全員参加を予定します。

（山根）

私はこう考え、こう実行します

【安原】社員の皆さんとの距離を縮め、新しいアイデアを気軽に話せる関係を作ります。

【河上】お客様に満足していただくために即行動する。

【松下】お客様との会話の中から新しい商品のアイデアを見つけ出す。

【岸本】もっとたくさんの社員がアイデアを発表できるような環境をつくります。

【榎並】計画を実行に移し、常にお客様に向き合って物事を考えます。

【山口】私は収集顧客管理システムをさらに進化させて、使いやすくします。

【吾郷】新しい気付きが発見できるように、いつもアンテナを張って考えます。

【大國】日々新しい発見、新しいアイデアを見つけられるように自分の意識を高めて、発想を豊かにする。

【木村】工場設備を増強する。

【木村憲】一步一步を着実に踏み出す。

【高橋】私は、商品化に何が必要か常に頭において行動します。

【松本】お客様に満足していただけるアイデアを計画し挑戦します。

【恩村】計画がお客様満足につながるか一番に考えて実行します。

【長谷川】失敗を恐れず挑戦し、すべてはお客様のために挑戦し続けます。

【植尾】FRP実験を重ね、品質向上を目指します。

【小村】一人一人が力を合わせ、今まで以上にチームワークを良くし仕事の質を上げていくよう努力します。

【藤原拓】お客様に廃油タンクを気持ちよく使っていただけるよう、製作・修理します。

【藤原】もっと作業経験を増やし、技術を少しでも向上させます。

【金森】お客様のためになることを考え実行します。

【田中】アイデアを実現できる社員になりたいと思います。

【安達】アイデアが出せるよう知識を広める。

【野々村】安全運転・安全作業の徹底をします。

【宮北】お客さまのことを一番に考えて行動します。

【松浦】自分の意見をはっきりと人に伝える。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして作業を行います。

【足立】励みの会について理解しアイデア実現に協力します。

【藤田】日々の仕事に慣れることなく、工夫することを忘れない。

【長野】お客様に期待されるエコス通信を目指します。

鳥取営業所が変身しました

営業所建物北側と西側の「軒」と西側から玄関前には木のぬくもりが感じられる「ウッドデッキ」が完成しました。また、待望の物置も玄関横に併設され、手狭だった事務所内の荷物を置くことが出来るようになり、利便性が増大しました。ウッドデッキには、地域の皆さんに花を見ていただけるように花壇を設置してもらいました。さらにウッドデッキは、いつまでもきれいに維持できるように、塗装する予定です。私たちの期待以上のものができ、感激しています。

また、智頭町は杉玉の産地ですが、その名物の杉玉を白間様から、プレゼントしていただき、玄関前の軒下にさっそくつるさせていただきました。杉玉は、魔よけになるそうです。縁起のよいものをいただき、ありがとうございます。

このように森林資源豊かな智頭の地に、杉を生かした建築物が出来、より一層地域に溶け込んでいくのではないかと思います。（大國）

新築祝いとしていただいた杉玉。白間様の手作りです。



事務所全景。周囲の景観に溶け込んでいます。

智頭町への移住生活 ② 地域に根ざして



智頭町で生活を始めて間もなくしてから、就職活動に励んでいた矢先、山陰興業㈱との面談の機会を設けて頂き、そのまま同企業に就職する運びとなりました。しかし前職は食品業界で営業をしており、全く業種が異なるという事で、本当に役に立つのか逆に迷惑にならないかと、多少の不安はありました。

実際に入社し、大國リーダーに随行して業務を少しずつ覚えるうちに、一抹の不安は消えていきました。危険物を扱うので簡単な業務ではありませんが、ルールをしっかり守り、自分自身の頑張り次第では、全くの素人でも役に立つ事が出来るのではないかと思います。

人にも個性があるように、会社にも個性があり、業種が異なる事もあって戸惑う事も少なくありません。今はまだ覚える事もたくさんありますが、目の前の事を一つずつこなしていきたいと思います。そして立派な収集マンになり、会社に地域社会に貢献したいと思っています。

（宮北）

*3ヶ月の連載とします。

「親をどうする？」 を読んで

私はいまだに母親にいろんなことを世話になっています。特に子供のことで世話になることが多いのですが、世話になるたびに「もう出来んようになるよ」と言われます。

義父にも畑で出来た野菜をもらったり、魚をおろしてもらったり、義母とも買い物に行ったり、子供の迎えを頼んだり……。全てが「元氣」であることが前提です。私はまだまだ親の介護を考えたことがありません。

この本のなかに「親の認知症、老いを認めたくない」との表現があります。本当にその通りです。いつまでも甘えたいわけではありません。ずっと今のままで、元気な姿のままで、親と子としていたいと心の底で思っています。

いつかは、まるで親子が逆転するように、親に対し愛情を持って接していかなければならない日々がくることを、この本を読んで少し感じることができました。

（足立）

